

# 患者さんの個別性を重視した問題の解決法

## ～計画的な予防製品の応用～

「予防を目的に定期受診すれば健康な生活を送ることができる」という患者さんの体験が、かかりつけ歯科への定着を促進します。

一方で、経年に受診される患者さんの口腔や全身状態は常に変化します。そのニーズに対して歯科衛生士は何をすれば良いのでしょうか。

歯科衛生士の専門的口腔のケアの向上はもとより、患者さんのニーズに焦点をあて、計画的にアプローチし、セルフケアの質を高める提案をすることも大切な技術です。

患者さんにあわせた予防製品の活用方法を、日本歯周病学会認定歯科衛生士で、臨床の第一線で活躍されている溝部先生にご講演いただきます。

歯科衛生士の皆様、スタッフの皆様ご一緒に参加賜りますようお願い致します。

大阪府大阪市医療法人社団皓歯会  
九州歯科大学歯学部口腔保健学科(特別研修員)

歯科衛生士 溝部 潤子 先生



### 【講師からのメッセージ】

超高齢社会を迎えた今、口腔環境や全身の状態の変化に応じたケアが必要となっています。患者さんの様々なニーズに応え歯科衛生士の観点から問題を解決する方法を提案したいと思います。

1. 患者の個別性に応じるために(歯科衛生ケアプロセス)
2. 患者のセルフケア効果を上げるために(予防製品の選択と応用)
3. 【事例】ブラッシングが苦手な患者さんへの指導方法 など

日 時: 2017年2月19日(日)12:20~13:50

会 場: 吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)7階 メインホール

定 員: 300名

受講料: 無料

※申込の必要はございません。会場へ直接お越しください。